



# ドリーム×マイスター Dream×Meister



騎手 **加藤 祥太** (18)  
(羽曳野市出身 西浦東小→峰塚中)  
平成 27 年 3 月、日本中央競馬会 (JRA)  
の騎手としてデビュー。今年は 30 勝以上  
を目標に、新人最多勝を狙う。庄野厩舎所属。

友情出演：タガノスマイル



栗東トレセンの坂路コース  
直線 1,085 m で高低差は 32 m

## ジョッキーへの道 (父に見抜かれた隠しごと)

ゲームから競馬に興味を持った 6 年生の時、父親に頼んで阪神競馬場へ連れて行ってもらった。同日に開催していた重賞レースで、馬と騎手が一体となり走る姿を目の当たりした。その日から少年の心に、騎手になりたい想いが芽生え始めた。

峰塚中学時代は陸上部を選び長距離種目で汗を流す。『競馬学校に入学するには体力が必要だったので。』が入部の動機だ。しかし、入学試験では乗馬技術も試されるため課題は残る。乗馬クラブに入会するには費用もかかるので、口に出して両親に

言えなかった。そんな状況を察してくれていた父親が、乗馬クラブクレイン大阪 (河原城) の入会手続きをしてくれたという。なにも言わずとも、加藤騎手の隠しごとは簡単に見抜かれていた。『両親に感謝しています。』と話す。

『入学当初は、ついて行くだけで必死だった。3 カ月ごとの実技審査でいつも最下位でした。でも、その悔しさをバネにして頑張ってきました。』と当時を振り返った。

## みんなの想い感じて騎乗

所属厩舎の庄野靖志調教師は、『若さを活かし、積極的な騎乗を。』と加藤騎手にハングリーさを求める。『競走馬の世話をする厩務員、出走まで仕上げる調教助手、そして応援してくれるファンの想いを乗せて走れなければダメ。その想いを託されるのがジョッキー。彼はきっかけをつかめば、上を目指すことができる騎手。』とこれからを期待する。

## 夢は欧州最高峰のレース

今年 3 月 14 日、ジョッキーへの憧れを抱いた阪神競馬場で初勝利を飾った。デビューから約 8 カ月が経過し、騎乗回数は 400 鞍を超えた。10 月 19 日現在で 21 勝を挙げ、新人最多勝を狙う。

最後に、これからの目標を尋ねてみた。『フランスの凱旋門賞で優勝したいです。』と笑みを浮かべた。

セーヌ川沿いのブローニュの森にあるロンシャン競馬場。そのターフ (芝) 上を、名馬と一体となり、ゴール板を駆け抜けていく加藤騎手の姿を想像した。満員の観客席からの歓声が鳴りやまない。

・・・編・集・後・記・・・

市民体育館で卓球を楽しみ、峰塚公園を走りまわる。体を動かすことが大好きだった小中時代。そんな彼が、大観衆の見守る中、サラブレッドの手綱を握っている。競馬は見るだけならお金はかかりません。応援よろしくお願いします。



中学校駅伝大会に出場 (当時▽峰塚中2年)